



東北生産性本部

労使定例政策研究会第4回例会開催



3月5日（水）開催 <53名参加>

★テーマ『どんな時代も人財は宝』

～社員の成長なくして 会社の発展なし～

★講師 イエローハットグループ（株）ホットマン
代表取締役 伊藤 信幸 氏

第4回例会は、講師として村井宮城県知事の連合後援会会長、日本を美しくする会東北ブロック長、宮城県中小企業家同友会相談役で、イエローハット、TSUTAYA、UP GARAGE、Gulliver、SEGA、ダイソー、ニコニコレンタカー、自遊空間、宝くじなど合計 106 店舗を



経営し、正にメガ・フランチャイジーの伊藤信幸氏を講師にお招きし開催しました。

伊藤氏は23歳まで日産プリンスで車のセールスマンをしており、昭和48年に個人創業され、昭和50年に(株)ホットマンを設立され、爾来今日に至っております。ホットな話題としては本年2月17日にジャスダック市場への上場承認を得られております。経営理念の一つとして「他人(ひ

と)のしあわせが自分のしあわせ」を掲げており**地域貢献が最大の使命**だと語りました。また、経営環境の変化に併せて企業が成長するには社員が成長し日々向上していかなければならないことから、社是「**社員の成長なくして会社の発展なし会社の発展なくして社員のしあわせなし**」と人間的成長を重視しており、求める理想の社員は「**明・元・素**」な人で、明るく元気で素直な人を求めています。

また、「自分磨き」を学ぼうという有志の集まり「日本を美しくする会」の活動については、掃除を通して自分達の「心の荒み」と「社会の荒み」をなくすことを目指しており、**企業は人を育てることが一番大切**であり、社員一人ひとりに自己成長してほしいと願っており、このような経験が目に見えない形で人間力が向上し、企業力、会社の力になると考えておられました。

同社の特徴の一つに出戻り社員が多いという。「外で勉強してきたと思えばいい」と明るく話し、その中には幹部社員に成長している人も少なくないということでした。

伊藤氏からは「**益はなくとも意味はある**」。今の世の中、益を求め、損か得かという事ばかり考えがちですが、意味があること、たとえば人の教育や地域社会に対する活動等も積極的に行ってほしい。車のハンドルにあそびがあるように、ある程度無駄なことも必要である。利益がなくとも、意味があること、そこに働くことの醍醐味があると述べられました。

そのほか、女性を店長にするなど女性を積極的に活用していること、ソフトボール大会を開催しチームワークづくりをしていること、「**全ての問題は現場にある**」との信念から「**朝の姿は夜の姿**」であり、全店舗を抜き打ちで店長より早く出社しトイレ掃除をしていること、常日頃の付き合いで震災の時に助けられたことなどエピソードなども交えながら、心磨きを大切にすることを私どもに教えていただきました。

第一義 ～ご褒美～

伊藤社長は損得ぬきで出会いや縁を大切にされている方と感じました。事業拡大は雇用拡大でありそれが地域貢献である。掃除を通して「心磨き」の実践による社員の成長を願っているなど、自分を磨き、社員を磨き、社会貢献活動をされているとのこと。1日に2回のホールインワンは伊藤社長への神様からのご褒美である。(記 S.Y)